

事業実績シート（研修及び調査・研究）

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		44,670	69,210	70,700				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金	29,779	46,139	47,132				
	一般財源	14,891	23,071	23,568				
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	財団法人長崎県建設技術研究センター	年度内派遣職員数	人	目標	3	2	2
					実績	3	2	2
					目標達成率（％）	100	100	100
	②				目標			
					実績			
					目標達成率（％）			

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 実施することによるメリット
	<p>(内容、程度等)</p> <p>職員の技術向上等による効果を目的とするため、当該事業を実施する必要がある。日々進歩している建設技術等の知識を習得した職員を確保するため今後も継続する必要があります。</p> <p>また、当事業を中止した場合、専門性の高い知識の習得の機会を著しく損ねることとなる恐れがある。</p>

事業実績シート（研修及び調査・研究）

4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	(1) 目標（目的）指標の達成状況	
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った	
実現性の点検	(2) 実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由	
	計画どおりの職員の派遣が達成できた	
実現性の点検	(1) 事業への反映	(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	職員を派遣し受講させることで、新たな技術と知識を習得することにより建設事業等に役立てられることが見込まれる。
	(2) 公共性の評価	(具体的内容)
	本研修及び調査・研究を通じて <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	即効性はないが、建設事業の実施に際して、習得した知識等を生かし、設計・施工することにより十分に利益を還元することが見込まれる。

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
実現性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	即効性のある事業ではないが、職員の技術向上等による効果を目的とするため、当該事業は、必要不可欠であります。また、代わりとなる研修機関もなく、日々進歩している建設技術等の知識を習得した職員を確保するため、今後も継続していく必要があります。				